

内航船舶の代替建造推進アクションプラン

内航海運を取り巻く現状

代替建造が進まない現状

内航船舶の少子高齢化

新規建造数

325隻(平成5年度)→46隻(平成16年度)

船齢14年以上の老朽船比率

55%(平成16年度)→75%(平成20年度(推計))

内航船建造造船所数の減少

93社(平成5年度)→24社(平成16年度)

このまま放置すると…

代替建造の停滞に伴って生じる問題

効率性・環境など社会的要請に応えた安定輸送が困難
造船所など他の海事産業も含め連鎖的衰退
内航からトラックへの逆モーダルシフトの懸念

物流効率化、環境等の社会的要請に応えられる船舶への
代替を安定的・計画的に進めるための対策が必要

内航船舶の代替建造を促進するための方策について

～内航船舶の代替建造を促進するための懇談会取りまとめ
(平成17年12月)

代替建造促進を図るための検討を行い、

- 産業物資キャリアの代替建造促進策
- 内航ユニットロード輸送に係る対策
- 新技術の開発と実用化促進
- 暫定措置事業の着実な実施等

について**基本的な方向性**を提示

具体化に向けて

内航船舶の代替建造推進アクションプラン

関係者が内航船舶の代替建造促進のため取るべき行動計画

産業物資キャリアの代替建造促進対策

これからの内航海運のビジネスモデルの推進
・グループ化等を活用した、効率的な船舶、船員の確保モデルなど、これからの望ましいビジネスモデルの検討
・ビジネスモデル推進のための支援方策の検討

内航海運におけるコスト及び運賃・用船料のモニタリングの実施

内航海運に関わる幅広い関係者の連携強化に向けた取り組み

船型等の標準化と合理的な運航体制の検討
・標準化の内容に係る具体的な検討
(2000KLタンカーと499GT鋼材運搬船について)
・標準化の効果に応じた合理的な運航体制の検討

内航船代替建造推進に資する中小造船業・船用工業対策

・建造の中核となるコンサルタントの育成・活用
・中小造船業・船用工業における人材育成支援

船員不足に対応した効果的な内航船員確保対策
・海員学校等船員養成学校卒業生の就業対策推進
・航海当直を行うことができる船員養成のあり方の検討
・ニーズに対応した船員養成のあり方の検討

内航ユニットロード輸送に係る対策

- 内航ユニットロードネットワークの充実を図るためのモデル的検討
- 内航輸送の利用を奨励する仕組みづくり
- 内航海運に係るモーダルシフト推進方策の調査研究

新技術の開発と実用化促進

新技術の開発及び実用化の促進
・新技術の実用化支援の枠組みの創設
・スーパーエコシップ(SES)の普及促進
・海上ブロードバンドの有効活用に向けた検討

省エネ船舶・機器への転換の推進
・省エネ船・省エネ設備の格付け

暫定措置事業の着実な実施等

- 暫定措置事業の制度・運用のあり方の検討

定期的なフォローアップ・状況変化を踏まえた必要な見直しを実施